

環境審査顧問会火力部会
議事録

1. 日時：平成18年2月28日(火) 14:00～15:00
2. 場所：経済産業省別館2階2東3共用会議室
3. 出席者：
(顧問)
横山会長、四方部会長、安達部会長代理、植田顧問、沖山顧問、
加藤顧問、北林顧問、河野顧問、能川顧問、日野顧問、森川顧問、
山下顧問、吉澤顧問、渡辺顧問、和田顧問
(経済産業省)
高取統括環境保全審査官、金子環境審査班長 他
4. 議題：(1)前回議事録(案)の確認について
(2)環境影響評価準備書の審査について
・関西電力(株)堺港発電所設備更新
5. 議事概要：
(1)開会の辞
(2)配布資料の確認
(3)前回議事録(案)について、関西電力(株)堺港発電所設備更新に係る平成17年1月30日に開催された火力部会、平成18年1月19日に開催された水環境分科会、平成18年1月31日に開催された大気環境分科会、平成18年2月6日に開催された自然環境分科会の議事録(案)及び沖縄電力(株)吉の浦火力発電所に係る平成17年12月20日に開催された火力部会の議事録(案)並びに東ソー(株)第6号発電設備に係る平成18年1月31日に開催された火力部会について説明がなされ、了承された。
(4)関西電力(株)堺港発電所設備更新の環境影響評価準備書に係る審査に当たり、事務局から質問事項への回答、補足説明資料、審査書(案)の修正比較表及び審査書(案)に基づき説明がなされた。

< 質問事項への回答及び補足説明資料について >

- 【顧問】成木ではなくて苗木を植栽するエコロジー緑化手法とはなにか。
【経済省】最初から大きな成木を植えるのではなく、種から生育させ、ポット苗として植樹するもので、それが将来大きな成木になり樹林帯を形成するような方式と聞いている。
【顧問】水質の修正比較表の第2.2.9-7表で、浮遊物質だけ量や濃度という表記がないので他の表記と合わせてほしい。

< 審査書(案)新旧比較表及び審査書(案)について >

- 【顧問】資料3-5の12ページの二酸化炭素で、発電量あたりの二酸化炭素排出量が0.36kg-CO₂/kWhとなっており、これはLNGを気化して発電を行った場合であるが、液化のエネルギーを含んでいるのか。もし、含んでいた場合は、産油国側の排出量と見なされるのか、受け取った日本側の排出量と見なされるのかについて、検討をしてほしい。
【経済省】拝承。
【顧問】資料3-6の騒音で、記述が分かりにくい。7ページの1.1.2騒音で、「資材等の搬出入に伴う騒音に関しては」が主語であるが、2つのことが書き込まれており、よくわからない。

- 【経済省】他の箇所の文章でもあるが、騒音については、環境対策として、2つを代表として記述してある。
- 【顧問】資材等の搬出入と通勤者のことの2つのことが書き込まれている。分かりやすくしてほしい。
- 【経済省】供用後の資材等の搬出入において、定期点検での関係者の通勤は、乗り合い等の徹底をするという意味合いである。
- 【顧問】新旧比較表の12ページ下から4行目の二酸化炭素で、現状の0.51kg-CO₂/kWhとあるが、燃料は重油・石油・天然ガスの3種混合なのでそれらの使用割合を記述した方が分かりやすい。1ページの「はじめに」にも同様に記述してほしい。
- 【経済省】割合までは困難と考えるが、現状の燃料が3種である旨を記述する。
- 【顧問】水質の濃度で準備書は「日間平均」という言葉を使用し、審査書は「日平均」としているが、同じ意味なのか。
- 【経済省】同じである。
- 【顧問】修正比較表の7ページの下から7行目で、「最大6mg/・」と文字化けしているので修正してほしい。
- 【顧問】修正比較表の12ページの下から7行目で、「コンバインドサイクル」の表記に誤りがあるので修正してほしい。

(5) 閉会の辞

以上